

第五次総合計画

施策一基本事業設定シート

第五次総合計画 施策—基本事業設定シート (A表) 【記載事項の説明】

政策	1	みんなであらう健康づくり	■政策名称と施策名称を記載しています。
施策	1	健康づくり	

主管課	健康づくり課	■施策の主管課と関係課の課等名を記載しています。
関係課	秘書課	

記入日	平成24年10月24日
-----	-------------

①第四次総合計画の中間評価(平成25年度終了時点でのあるべき姿に対して)	②施策の方向性の変更について(変更の必要性)	③施策内の事務事業の動向	
<p>施策全体の中間評価 (順調に進んでいるか進んでいないか、その具体的事由)</p> <p><input type="checkbox"/> ◎施策全体として後期目標 (H25) をすでに達成</p> <p><input type="checkbox"/> ○後期目標 (H25) をおおむね (7~8割程度) の達成可能</p> <p><input type="checkbox"/> △後期目標 (H25) を達成が困難な指標が多く (5割程度) あり順調でない</p> <p><input type="checkbox"/> ×施策全体として順調でない</p>	<p>法改正、環境変化、住民ニーズの変化から施策の方向性を見直しが必要か?</p> <p><input type="checkbox"/> 変更の必要はない (コメント記載必要なし)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部変更を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 大幅に変更を検討する</p>	<p>目的達成済み又は進捗が順調な施策内の事務事業</p> <p>●健康づくり教室事業 健康的な生活習慣を理解し実践しようと思った参加者割合 H18:100% → H23:100%</p> <p>●筋力トレーニング事業 自主活動での筋力参加者 H18:110人 → H23:801人</p>	<p>成果が伸びていない、又は進捗が遅れている施策内の事務事業</p> <p>●市民総元気まる事業 元気まるの受検実人員数 H18:1,197人 → H23:527人</p> <p>●女性の健康診査事業 女性の健康診査受診者の割合 H18:2.66% → H23:2.36%</p> <p>骨粗しょう症検診受診者の割合 H21:6.13% → H23:5.77%</p>
<p>(第四次総合計画開始時点(初期値)と現在の成果の動向、及びH25目標値との乖離)</p> <p>施策成果指標は、「健康だと思う市民の割合」であり、基準年度(H14年度)時点の83.4%が、H22年度時点で84.1%にあり、H21年度目標値である83.4%を達成している。</p> <p>■第四次総合計画の施策・基本事業評価結果をもとに、計画の中間評価について記載しています。</p> <p>(現在の「健康づくり」の番号)</p> <p>■上記の4区分のいずれかをチェックし、その理由を、「第四次総合計画開始時点(初期値)と現在の成果の動向、及びH25目標値との乖離」「現在の施策成果に至る原因」「施策及び基本事業の成果指標全体動向」という視点で分析しています。</p> <p>(施策)</p> <p>施策・基本事業の14指標のうち3指標が目標を達成しており、4指標が目標値に向かって順調に推移していますが、半分の7指標で目標値の到達が難しい状態です。</p>	<p>(中間評価から)</p> <p>■第四次総合計画の施策・基本事業評価結果や法改正、環境変化等から、施策の方向性を変更するかについて、記載しています。</p> <p>■「変更の必要はない」を選択した時は、コメントを記載していません。</p>	<p>■施策内の事務事業について、事務事業評価結果等から、施策目的への貢献等を踏まえ、目標達成済み又は進捗が順調な事業と、成果が伸びていない、又は進捗が遅れている事業のうち、特徴的なものについて記載しています。</p> <p>■また、その理由について、成果指標の推移などを用いて説明しています。</p>	

④第五次総合計画策定に向けた施策を取り巻く環境変化と課題			
④-1 施策を取り巻く環境変化		④-2 施策の課題	
<p>(現時点の環境変化)</p> <p>・テレビや新聞等のメディアで健康、医療関係の番組や記事が増加していることにより、健康や医療について関心が高く知識を持つ市民が増加していると思われま。</p> <p>・健康、医療関係情報の増加により、健診等の数値に過剰に反応し、自分自身の健康状態を必要以上に厳しくみる傾向になってきています。</p> <p>・保健福祉センターで実施する、健康づくり教室や元気まる測定の参加者が減少しています。</p> <p>・働く女性の増加などで、子育て支援のニーズが高まっています。</p> <p>・従来の保健福祉センター事業(出前講座等)が求められ、乳児の早期月齢での予防接種、契約医療機関以外での健診のニーズが高まっています。</p> <p>・障がいの疑いのある子供、ハイリスク妊婦(低年齢、高齢、多胎、多産、多産、多産)が増加しています。</p> <p>・平成25年度から「低体重児医療の給付」について保健</p>	<p>(第五次総合計画期間における環境変化)</p> <p>・テレビや新聞等のメディアで健康、医療関係の番組や記事が増加していることにより、健康や医療について関心が高く知識を持つ市民が増加していると思われま。</p> <p>・健康、医療関係情報の増加により、健診等の数値に過剰に反応し、自分自身の健康状態を必要以上に厳しくみる傾向になってきています。</p> <p>・保健福祉センターで実施する、健康づくり教室や元気まる測定の参加者が減少しています。</p> <p>・働く女性の増加などで、子育て支援のニーズが高まっています。</p> <p>・従来の保健福祉センター事業(出前講座等)が求められ、乳児の早期月齢での予防接種、契約医療機関以外での健診のニーズが高まっています。</p> <p>・障がいの疑いのある子供、ハイリスク妊婦(低年齢、高齢、多胎、多産、多産)が増加しています。</p> <p>・平成25年度から「低体重児医療の給付」について保健</p>	<p>(現時点の課題)</p> <p>・これまでに例のない超高齢化(少子高齢化)が進む中で、市民の健康増進を限られた財源、人員で効果的に進めることが求められています。</p> <p>・各種健診(検診)や予防接種については、健康の維持増進、疾病予防等の推進のため、限られた財源で効果的に受診率や接種率を向上させる必要があります。</p>	<p>(第五次総合計画期間における課題)</p> <p>・これまでに例のない超高齢化(少子高齢化)が進む中で、市民の健康増進を限られた財源、人員で効果的に進めることが求められています。</p> <p>・各種健診(検診)や予防接種については、健康の維持増進、疾病予防等の推進のため、限られた財源で効果的に受診率や接種率を向上させる必要があります。</p>
<p>■現時点と第五次総合計画策定期間における、施策を取り巻く環境変化を記載しています。</p> <p>■現時点から第五次総合計画策定期間まで継続と思われる項目については、同じ内容を両方のセルに記載しています。</p>		<p>■現時点と第五次総合計画策定期間における、施策の課題を記載しています。</p> <p>■現時点から第五次総合計画策定期間まで継続と思われる項目については、同じ内容を両方のセルに記載しています。</p>	

第五次総合計画 施策－基本事業設定シート（B表）【記載事項の説明】

⑤施策・基本事業の対象、意図、成果指標の追加、変更、削除を検討。

⑥成果指標の取得方法（業務取得、アンケートなど）、算定式を検討。

施策番号	施策名称	施策の対象	施策の意図	指標区分	施策の成果指標	単位	平成14年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	H30目標値	H35目標値	取得方法	算定式	変更理由
			健康で元気に暮らす市民が増えている 市民が健康で元気に生活している											アンケート ア. 1・2・3回答者／全回答者 イ. 1月→3月 ウ. 市民（無作為抽出） エ. 問30		
								86.62	86.26					業務取得 ア. 長寿課保有データ：男女別5区分（65～69歳、70～74歳、75～79歳、80～84歳、85歳以上）の要介護度2～5認定者数＋インターネットで取得する各種統計データをもとに「平均自立期間の算定プログラム」で算出した平均自立期間に65を加算 イ. 要介護認定者は10月1日時点 ※平均自立期間の精度を確保するため、3か年の平均値で算出する。		

■『施策』について記載しています。

■第四次総合計画からの変更箇所は斜体文字＋セルが網かけ表示になっています。
■削除箇所は、取り消し線表示になっています。

基本事業番号	基本事業名	基本事業の対象	基本事業の意図	指標区分	基本事業成果指標	単位	平成14年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	取得方法	算定式	変更理由
			健康増進事業の推進により、市民の健康増進に関する意識が高まり、健康づくりに取り組む市民が増えている	成果	健康づくり教室・元気まる測定への参加者数	人	3,707	5,097	4,414	3,775	3,530	業務取得	ア. 健康づくり教室、元気まる測定参加者数の年間合計 イ. 課の実施報告書より計算、3月末（年度末）→次年度4月	
			健康相談や保健指導などの充実により、健康に関する相談や指導が気軽に受けられる	活動	健康相談対応率（参考：健康相談の件数）	%（件）	(10,942)	100 (9,419)	100 (9,569)	100 (9,568)	100 (9,389)	業務取得	ア. 相談件数／相談申込件数（参考：各種健康相談件数の年間合計） イ. 課の健康相談実施報告書の集計、度6月	
				成果	健康増進に取り組んでいる市民の割合 取り組む平均実践項目数	% 個	36.4	41.5	—	42.6	—	アンケート	ア. 1～7のうち、3項目以上に○をつけた回答者／全回答者 イ. 健康増進に取り組んでいる項目数の平均数 イ. 1月→3月 ウ. 市民（無作為抽出） エ. 問32	現在の算定式は、○が3項目以上の場合となっていますが、分かりづらいため、各選択肢を實踐している項目数の平均として、より多くの項目を市民に實踐してもらうように指標名を変更します。
				成果	保健事業への参加者数	人	13,868	16,732	16,353	15,491	14,858	業務取得	ア. 各種保健事業の年間参加者数の合計 イ. 課の保健事業報告書、3月末（年度末）	■基本事業や成果指標を追加・変更・削除した理由を記載しています。
03	早期発見・予防の充実	市民	疾病を早期に発見・予防できている	成果	定期的健康診断（市・民間）を受けている市民の割合	%	76.6	77.5	—	79.2	—	アンケート	ア. 1・2回答者／全回答者 イ. 1月→3月 ウ. 市民（無作為抽出） エ. 問33	
				成果	乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率	%	91.4	77.3	82.3	90.9	81.0	業務取得	ア. 乳幼児・児童・生徒定期予防接種・接種者年間合計数／対象者年間合計数 イ. 課の予防接種実施報告書より計算、3月末（年度末）→次年度5月	
				成果	高齢者の定期予防接種の接種率	%	50.7	59.3	48.3	55.1	52.7	業務取得	ア. 高齢者インフルエンザ予防接種・接種者数／対象者数 イ. 課の予防接種実施報告書より計算、3月末（年度末）→次年度5月	
04	母子保健の充実	乳幼児、父親、母親	母子保健の充実により、母子ともに健やかに育ち、生活できている	成果	乳幼児健康診査受診率	%	93.5	95.1	96.2	95.7	95.5	業務取得	ア. 乳幼児健康診査受診者の年間合計数／健診対象者の年間合計数 イ. 課の乳幼児健康診査集計表より計算、3月末（年度末）→次年度5月	
				成果	乳幼児の健康状態が把握できている割合	%	99.5	98.5	98.1	99.6	99.6	業務取得	ア. 健康状態が把握できた乳幼児の年間合計数／対象者の年間合計数 イ. 課の乳幼児健康診査集計表より計算、3月末（年度末）→次年度7月	
				成果	母子保健サービスに対する満足度	%	73.2	75.0	—	75.2	—	アンケート	ア. 1・2・3回答者／（ウ）全回答者 イ. 1月→3月 ウ. 就学前の子どもを持つ保護者 エ. 問19-8	
05	健康づくりのための環境整備 市民参加による健康づくりの推進	市民、ボランティア	健康づくりに関する体制が整備されている 健康づくりのための組織づくりが、市民の参加により進められている	成果	ボランティアとの協働による健康づくり事業数	事業	—	8	8	8	8	業務取得	ア. ボランティアとの協働により実施している市の健康づくり事業数 イ. 3月末（年度末）	
				社会	保健福祉センターの利用者数	人	25,221	44,754	44,495	43,852	40,346	業務取得	ア. 保健福祉センター年間利用者数 イ. 課の各種事業実施報告書の集計、3月末（年度末）→次年度5月	単に保健福祉センターを訪れた人数の集計であり、基本事業の成果指標としてそぐわないため削除する。

成果指標の目標値は、来年度に検討します。